

## 住民ミニキャンプ会議録

- ・ 第1回 平成27年10月5日（月）
- ・ 第2回 平成27年10月13日（火）

※今回は集団インタビュー形式で行いました

担当：小山・厚毛

## ヒアリング対象者の基礎情報

- ・ 参加者数11名
- ・ Iターン者が多かった
- ・ 平日の日中帯に実施したため高齢層が多かった



## 集団ヒアリング対象者の傾向

- ・ 自然との距離が近いこと、景観の美しさ、スキーを楽しみたいという背景像から移住してきている
- ・ Iターン者が多いためか、観光産業に対しての話は尽きないが、白馬での暮らしに対しての話は出にくい傾向であった

## 白馬村の政策に対する私の意見・要望・提言（白馬村役場パート）

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白馬高校の国際観光科を中心にした方が良い。</li> <li>・ 観光に来た人たちの視点で考えるべきではないか。</li> <li>・ 歩く人中心の村にした方がいいのではないか。</li> <li>・ オリンピック道路など景色の良い所で観光客が写真を撮るが急に止まり危険なので、良い場所に看板を置くなりの方が良い。</li> <li>・ 松川、平川の河川敷を公園の様に綺麗にしてもらい利用しやすいようにする。また、トイレの設置が必要。</li> <li>・ 村内で人の住んでいないところを綺麗に片付ける。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PDCA をまわすまえに、まず、これまでの計画についてチェックを持ってきていただきたい。基本的にはプランからいただくが今回は結果のアンケートがあるのが良いと思う。もう一步踏み込んで今までの取り組みはどうだったのかというところまでいく必要がある。</li> <li>・ 行政の方はすごく頑張っておられるので、行政の職員の方を評価する制度があると良い。給料を上げるのは難しいだろうが、表彰制度などの工夫が必要で、村民にも公表することでモチベーションの向上にもなると思う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光産業に携わっている。</li> <li>・ 景観に配慮した観光をすすめていただきたい。残すべき景観をみんなで話し合ってもよいのではないか。白馬は唯一無二とも言える景観がある。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 十年前の総合計画の時にも意見させてもらった。</li> <li>・ この十年間に総合計画で掲げたことができたのか。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 批判するつもりはなく、今後のためにどうするかということで応えたい。</li> <li>・ 村長や観光局長が変わり素晴らしいことを言われる。今回の席でも素晴らしい意見はでるだろう。</li> <li>・ この10年、スキー観光客やグリーンシーズン登山数は増えておらず、減っている。あとは何でバロメーターを図るのか。資料だけで良い文言をいうだけ。この村ではスキー客と登山客が重要で現実に実を結ばない限りは、まちは潤わず、村民の生活は向上しない。問題はそこをどうするかを考え、追求する必要がある。なのでチェックから入る必要がある。</li> <li>・ 総合計画がひとつもできている気はしない。</li> <li>・ 私のまわりにはペンションがたくさんあるが生活が良くなっているようには見えない。</li> <li>・ 白馬が好きで越してきた。</li> <li>・ 山小屋、登山道、リストなど、外国や都会の人をひきつけるものがほとんどない。</li> <li>・ 4-5年前にミシェル・クワノンがレポートを出し、シェラリゾートで講演があった。観光局が翻訳した本を出しており、素晴らしいことが書かれている。その後変化を感じないので総合計画をたてようが達成できないのではないかと思ってしまう。</li> <li>・ 良い意見が出ても中途半端で、お客さん呼びこむまでのパワーになっていない。</li> <li>・ 村民が違う方を向いている。村民で考えていく必要がある。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5年目の白馬の冬を迎える。</li> <li>・ 観光立村なので観光と、住んでいる住民の施策が柱になると思う。</li> <li>・ 行政は従来の枠に乗っているように思う。</li> <li>・ イベントだけでは活性に繋がらないので、常時の魅力を考えないといけない。</li> <li>・ 八方にある山とスキーの総合資料館があるが、どの程度の観光客が寄ってもらえるような仕組みがあるかが見えない。無料から有料になった。山の古書から情報を得るのに、村の図書館には山の雑誌がない。図書館は憩いの場であり、読書の場である身近な場である。他所では、司書さんが学校にいけない子に図書館においでと呼びかけ話題にもなった。</li> <li>・ 文化事業に対してどの程度目を向けられているのか。例えば昔から、木彫文化があります。それが観光客にどの程度伝わっているのが疑問である。観光客は、雨が振った時に行くところがないというが、本当資料館や木彫のお店がある。それぞれの関連性が別個になっている。他の県ではいろいろな施設が連携するような仕組みができている。共通のチケットや巡回バス、タクシーなどを含めて連携している。</li> <li>・ 観光局だよりは上から目線に感じる。である調で客観的。今後どうしようという考えが見えてこない。</li> <li>・ 白馬館は登山客にとって文化的価値が高い。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白馬オリンピックは若い人にとってはもう知らないことなのにならでもこだわる必要はないのではないか。無くしてはいけないが。</li> <li>・ ウェストン祭を登山者にアピールされていない。</li> <li>・ 外国語の対応がない。中国語、韓国語などの案内がない。インバウンドとは言うが受け入れ体制がない。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6年前に景観が素晴らしく感じ移住してきた。</li> <li>・ 電線が入らないスポットを探すのが難しい。</li> <li>・ 3人子どもがいる。白馬高校の存続問題に1年程前から関わっている。環境の良い所にある学校がなくなるのはもったいない。教育を大事にしたい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神城地区の婦人会長をしている。年々女性の組織率が減少している。大きな震災を受けた村としては、地元の奉仕団の存続の体制を考えていかないといけないと思っている。</li> <li>・ 教育、医療、健康など福祉の面を総合計画に盛り込んでいきたいと思う。</li> <li>・ 仕事の関係で他所の計画づくりに関わらせてもらうことがあったが、短期ではなく、2-3年を掛け、いろんな職種の方を集めて練っていた。それに比べて白馬は短期間で2-3回の会合で作り上げてしまうのに驚きを感じる。できたものに継続性が見られない。若い人や女性の意見を取り入れる必要がある。PDCAを取り入れ、目標に近づくようにする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロセスが大事なので、人数が少ないのが残念。中学生・高校生の意見を聞く必要がある。いろんな人の意見を聞く必要がある。</li> <li>・ 行政は文章にするのはプロだろうが、具体的なことを作っていく必要がある。</li> <li>・ 白馬村では若い人たちが村づくりに興味を持ち、自分たちで会議を持っている。40才までと言われているが強引に参加させてもらっている。いろんな意見をもっていて楽しいし、白馬村はよくなるなと思う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合計画というと大きなイメージになってしまう。役場には、観光課がありますし、観光局や各自治体には観光協会もありますので、総務課はそこまで突っ込むと来年までにはできないと思うので役割を明確にしてやった方が良いと思う。観光事業者には手をつけられない人口問題や子育て、教育などをきちんと作ってもらいたい。</li> <li>・ 白馬高校には観光科もできるので、入った子たちの就職や進学が彼らの望み通りになるようなサポートがこれから重要になる。</li> <li>・ 図書館もお金を掛けてでも、作っていただきたい。知識面でも大事であり、白馬の景観にあうように考えていただきたい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口を増やす、出生率を増やす、電柱の地中化など何をするにも財源が必要になる。大阪の商売人なので村の収入を考えてしまう。自治体の職員の方にはビジネスマインドをもっていただきたい。住民や企業は公共的マインドをもって協働をしないとこの時代にはすすんでいけないと考える。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政策に対して一番課題だと思うのは観光局。いろいろな利益団体の理事であることが問題なのではないかと思う。希望としては実働ができる若い人に運営してもらいたい。ITの生活浸透度が旅行には必要。インバウンドをやるのであればITを駆使すべき。外国人は老人でもITの浸透度が高い。外国人観光客は一泊で10万を使うと言われている。</li> <li>・ 八方でレストランと宿をしている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 埼玉から8年前に来て、3年前に住所を移した。景色が良く越してきたいと思ったが、白馬の人には景色だけでは食べていけないと言われた。</li> <li>・ 出身は隣の群馬県。</li> <li>・ 関西弁がよく聞こえる。5-6時間掛けてやってくる魅力は何なのか。</li> <li>・ 白馬の移住手続きはあまりウェルカムだとは思わなかった。他所の人口が減少する市町村はいろいろとやっているように聞く。白馬は余所者を受け入れたくないと感じた。</li> <li>・ 昨年の震災の時に人生で始めてボランティアをした。その時に元気な高齢者がたくさんいると感じた。呼びかければ出てきてくれる高齢者はもっといるのではないかと思う。</li> <li>・ 景観でいうと、全ての電柱の撤去は難しいだろうが、大出公園の橋のところに電柱だけは改善してほしい。春のカメラマンの数を反映してもらいたい。</li> <li>・ アウトドアショップに勤めている。白馬にアウトドアショップが増えたことで、松本などから来てくれるお客さんも増えてきた。</li> <li>・ 柵池や山のボランティアを無償でやっており、観光客に積極的な呼びかけをしている。地理的な活用をすることで白馬に対する魅力が高まると思う。</li> <li>・ 診療所で無理な場合、安曇野か松本と言われる。群馬と行ったり来たりしているので、遠い安曇野を紹介する理由が分からない。50分でいける長野があると思ってしまう。長野の経済圏も視野にいれる必要がある。高速バスの本数を増やすなど工夫がある。白馬高校以外に長野の高校に目を向けさせるという対策も有効ではないかと思う。</li> <li>・ あと2-3年経つと後期高齢者の部類に入るので介護施設はどうなるのかが気になる。</li> <li>・ まわりのお母さん方に聞くと、中学までは良いが高校はどうしようかと悩まれている方がいる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人が少なくがっかり。昼間であることが悪いのではないか。誰でも出れる時間にやってほしかった。やっても意味が無いように思う。</li> <li>・ 主婦としてごみの問題がある。名前を書いてごみを出すのはわかるが、行政はどうやって徹底するのが気になる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合計画は立派なことが書かれているが実行されているかが疑問。審議会では、第5次を作るにあたり、第4次がどうだったのかのレビューを徹底的にする必要がある。できなかったことについては何故できなかったのかを検討する必要がある。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 長野県は人口が減少しているが、県下では現象していないところもある。そこがどういう対策をしているのか。また人口問題だけでなく、政策上の問題を先進的な自治体に学んではどうかと思う。</li><li>・ 村民が参加する村政を目指すべきである。ひとつは村政の情報開示が必要である。役場は情報を隠蔽する傾向があるのではないかと思う。行政で資料のコピーがほしい時 20 円もとられる。</li><li>・ 年間 4 回議会が開かれるがその資料が出てくるのが遅い。</li><li>・ 行政と村民が対話する必要がある。</li><li>・ 村のホームページに入力ミスが見られる。おそらく一人でやっているからではないか。数字が間違っていることもある。ダブルチェック、トリプルチェックをしているのか。</li></ul>
--	---

白馬の魅力や課題 (studio-L パート)

	自己紹介
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民宿と鉄工所をしている。</li> </ul>
	白馬村の魅力
	白馬村の課題
	自己紹介
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年前に入居。</li> <li>・ 楯池のボランティアとアルプスのレンジャーをしている</li> </ul>
	白馬村の魅力
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分は埼玉にいたときは地域の行事に参加していなかったが、白馬に来てからはするようになった。参加することで外にでる機会が増えた。</li> <li>・ 白馬は、雪でもイベントができる。</li> </ul>
	白馬村の課題
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元の中学生も、最近ではスキーをされている人が減ってきたと聞いている。</li> <li>・ 観光者にいい印象をもってもらえる仕組みが必要。</li> <li>・ ガイドは予算的に難しいかもしれないが、できるようにした方が良い。</li> <li>・ 交通関係は整っているのではないかと思う。</li> <li>・ 温泉もある。</li> </ul>
	自己紹介
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地震で自宅が全壊。再建はまだ考えられない。</li> <li>・ 飯森で農カフェをしている。食堂。</li> </ul>
	白馬村の魅力
	白馬村の課題
	自己紹介
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神城地区の婦人会会長</li> </ul>
	白馬村の魅力
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スキーをするようになって白馬は良いと思うようになった。</li> </ul>
	白馬村の課題
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どものころは学校まで行く道を大人たちが作ってくれていた。今みたいにいい服もなかったので良いイメージはなかった。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの頃にスキーの魅力に気づければ、雪に関わる仕事をされるのではないかと 思う。子どもの頃に魅力を教えたり、体験させたりしてあげることがいるのではない かと思う。学校教育の中でも減ってきているのではないかと思う。</li> </ul>
	<p>自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山麓地区。</li> <li>レストランと宿と主にアメリカでスポーツ用品の輸入卸売販売をしている。</li> <li>30年前に来た</li> </ul> <p>白馬村の魅力</p> <p>白馬村の課題</p>
	<p>自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家は名鉄。出身は九州で6年ちょっと前に引っ越ししてきた。</li> <li>八方のspringsホテルの1階に入っているスリーピークスというお店でスキー ショップをしている。</li> <li>三児の母</li> </ul> <p>白馬村の魅力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分がアメリカから輸入しているブランドがあり、2年ほど前にスポンサーをしてい るフランス人のプロスキーヤーが、白馬でビデオを撮りたいと3人ぐらいで来てく れた。世界有数の山を滑っている人が白馬の雪はパウダースノーで素晴らしいと感 動されていた。</li> <li>1シーズン10万円でアルペンスクールに通える。こちらに住んでいるオーストラリ アのスキーヤーに話すと自分のところでは1シーズンコーチ代だけで10万円する。 白馬は授業で滑るので、どこにいても滑れるようになる。これは財産ともいえる。</li> </ul> <p>白馬村の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地元の人は当たり前でその認識がなく発信しない。</li> </ul>
	<p>自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>15年前に東京から来た。</li> <li>来た理由はリタイアしてから北アルプスに登りたいと思ったから。最近では頂上まで 登れなくなってきたが、スキーや水彩画をしている。スキーは年間80日程している。</li> </ul> <p>白馬村の魅力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>誰に聞いてもこれほど良いコースは無いと言われる。</li> </ul> <p>白馬村の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>12月から5月の始めまで、雪の質が全部違う。しかし、知らない人が多い。1月の</li> </ul>



	<p>雪が特に素晴らしい。アーリーモーニングと言いつ日の出とともに滑るのは素晴らしい。発信や経験することが大事でPRする必要がある。できていないのでは、村民が滑っておらず知らないからできない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挨拶で雪が降って大変ですねというが、自分は違い最高だと思う。</li> <li>・ 良いなと知っていることでも10年もすると言わなくなってくる。役場が仕事としてもっとPRしていくべき。</li> <li>・ 「今日は素晴らしい雪ですよ」ということが発信されたことがない。きっかけをもっとつくっていくべき。役場は話し合う機会をもっとたくさんつくっていくべき。</li> <li>・ グリーンシーズン券を毎年買う。都会から来た人は三山や五竜の景色を見て、「死んでもいい」という。それぐらい素晴らしい。しかし、ハイヒールで来る人もおり、そういった人はもう二度とこないだろう。</li> <li>・ 曇天の時下から見上げると雲しかないが、八方池山荘あたりで青空に抜ける。その時の雲海の景色が素晴らしい。PRしていない。</li> <li>・ 再生力指数は0.4ですよね。東海は1に近い。長野では軽井沢ぐらい。私は軽井沢より白馬の方が良いと思う。新しく来た人とコミュニケーションができておらず、集約ができていない。</li> <li>・ 除雪を業とする仕組みをつくる。高齢者は除雪に困っており、若者は仕事がないと行っている。</li> </ul>
	<p>自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 15年前に家を建てて、5年ほど前に引っ越ししてきた。</li> <li>・ 山が好きで移住してきた。</li> <li>・ 移住や子どもの関係で単身で住んでいて、妻がたまに来る。</li> <li>・ レンジャーをしている。</li> <li>・ 冬はスキーをしている。</li> </ul> <p>白馬村の魅力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 村の全景が見えることは他には中々なく誇りに思う。</li> </ul> <p>白馬村の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白馬中学で非常勤をしていた。子どもたちにとっても当たり前で感じ取ってくれることはない。</li> <li>・ 3月の雪が安定したころのスノーシューが流行り始めている。スキーが苦手な人でも始められる。雪と楽しめる大人の遊び。白馬はそのPRができていない。</li> <li>・ 残雪の誘客もできていない。</li> </ul>
	<p>自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冬はスキー場でシャトルバスをしている。他には宿の送迎をしている。</li> </ul>

	白馬村の魅力
	白馬村の課題
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白馬村の信号が場所によって全然違うのが困る。</li> <li>・ マックスバリューの出口は出にくい。</li> </ul>
	自己紹介
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会社が白馬の土地を買っていたが 30 年間使うこと無く処分することになり、自分がその土地を見に来て良いところだと思い引っ越ししてきた。</li> <li>・ 空気が美味しいし、水が美味しい。</li> </ul>
	白馬村の魅力
	白馬村の課題
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関が心配。年をとったら移動をどうするかが気がかり。</li> <li>・ ペンション経営が 22-23 件あるが後継者がいるところが一件しかない。</li> <li>・ 2 日ほど前に、ニュージーランドの人が宿を経営することになり挨拶をしにきた。</li> <li>・ 若い人が働けるような環境にしなければいけない。</li> </ul>
	自己紹介
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元出身</li> </ul>
	白馬村の魅力
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他所から来た人はそれなりに勉強されて来られる。</li> </ul>
	白馬村の課題
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分にとっては当たり前の生活だった。自分も 10 年程外に出ていたので白馬に帰ってきて、やっぱり白馬は良いところだったと思うが、住まれている方はそれほど魅力を感じていない。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 年ほど前まで白馬のスキースクールに通っていた。いまは非常勤でたまに行く程度。</li> <li>・ 白馬のスキー場は景色がよく素晴らしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害があった時に防災無線で一言も言ってくれなかった。</li> <li>・ テレビでしか情報を得られなかった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高度経済成長期には沢山のお客さんが来た。その時にもう戻れることはないだろうが、近づいていくことはできるのではないのか。</li> <li>・ 若い経営者の方が発想の転換で取り組みは始めている。行政がバックアップしていくべき。直接声を聞きに行く、聞ける場を設定し集約していかなければならない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白馬村は若者の定住促進が積極的ではない。若者の就労支援や子育て支援など。長野に近いので、連</li> </ul>

携できるようにしていく必要がある。移住しても仕事があるということを打ち出す取り組みをしなければいけない。

## 抽出されたご意見整理

### 【雪・スキー】

魅力	課題	課題解決や取り組むべきこと
コースが良い		スキー客に発信する
時期によって雪の質が違う ⇒パウダースノーをフランス人が 評価	・村民にとっては雪が当たり前で あり魅力ではない ・雪下ろしの苦勞から良い思い出 はない	
吹雪でもイベントができる		
スノーシュー（新しい雪のスポー ツ）		
アルペン部		
学校の授業でクロスカントリーを する ⇒どんな山でも滑れるようになる		新しい視点として教育プログラム に取り入れると良いのではないか 子供にうちに白馬の魅力を学ぶ

### 【景観】

魅力	課題	課題解決や取り組むべきこと
山から村の全景が見える		
八方池など歩けば素晴らしい景観 がある		

### 【暮らし・仕事】

魅力	課題	課題解決や取り組むべきこと
昔から住んでいる人と新しく住み 始めた人との連携		若者の移住支援（住と職）

### 【医療】

魅力	課題	課題解決や取り組むべきこと
	病院が心配	
	高齢になると病院に通う足がない	

【交通】

魅力	課題	課題解決や取り組むべきこと
特急電車があるので村外に出やすい	道路の信号が変わるタイミングがバラバラ	

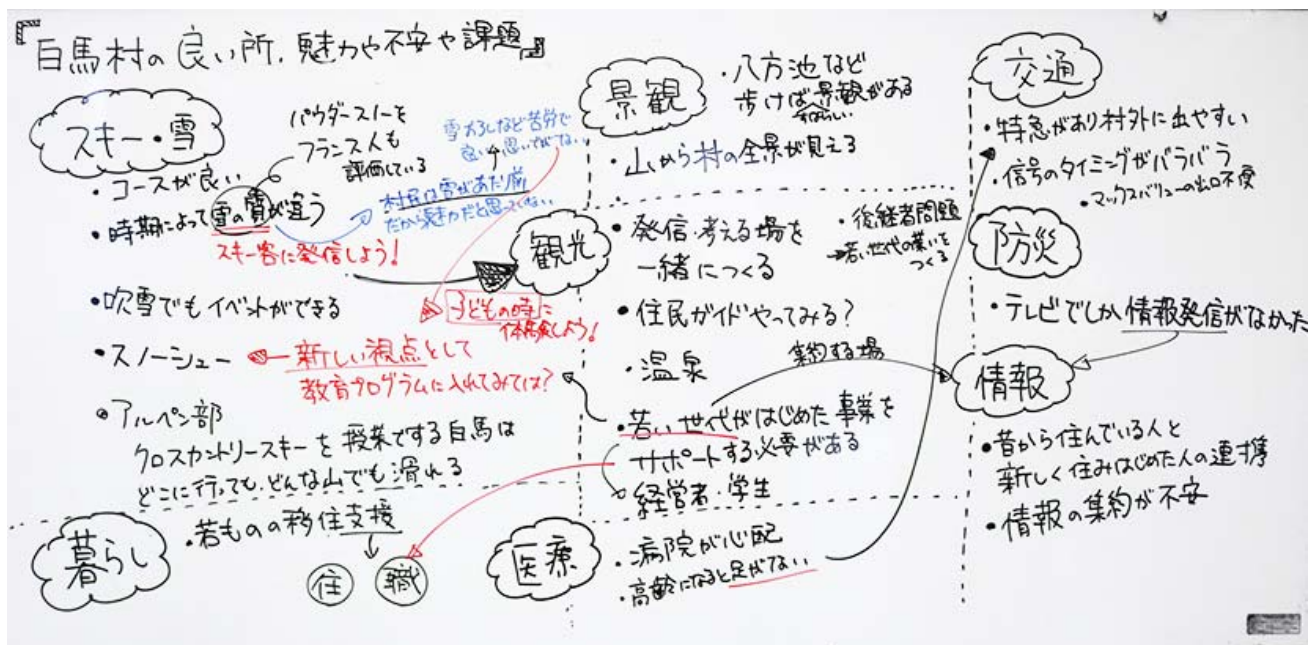
【防災】

魅力	課題	課題解決や取り組むべきこと
	震災の時、テレビしか情報発信がなかった	

【情報発信】

魅力	課題	課題解決や取り組むべきこと
	情報の集約が不安	

板書記録



担当：醍醐・厚毛

ヒアリング対象者の基礎情報

- ・ 参加者数11名。
- ・ 1回目同様Iターン者が多かった。
- ・ 30代の参加もあり前回よりは少し年齢層が若かった。



集団ヒアリング対象者の傾向

- ・ 基本構想、基本計画づくりのスケジュールが短いことを不安視されていた
- ・ 役場が総合計画を掲げてやってきたが、変化は見られなかったという声がある一方で、村民からは、村民主体で村の将来像を考える必要があることを理解しておられる方もいた

白馬村の政策に対する私の意見・要望・提言（白馬村役場パート）

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口の減少が少なくなる場になると良い。</li> <li>・ 子育てがしやすい場になると良い。</li> <li>・ 農協の仕事をしているので、農業の振興をどのようにしていけば良いのかを考える。</li> <li>・ 荒廃地をつくらない村づくり。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初参加のため意見なし</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 村民ではない。千葉県と行ったり来たりしている。</li> <li>・ チラシで気になり参加した。</li> <li>・ 施策はいろいろと書かれているが、いつまでにどのようにしたいのか、ビジュアルや数値が見えない。</li> <li>・ 村民に対して、目標や課題が達成できたのか明確に提示できていないのではないか。</li> <li>・ 優先順位をつけて、村の収益を考える必要がある。</li> <li>・ 白馬村の豊かな資源をどう使うかを考える必要がある。いまは自然そのままである。今後、観光をメインにするのであれば、人を迎え入れる、おもてなしをするためにも、ある程度の整理は必要なのではないかと思う。都会に住まれている方は自然に憧れをもって来られるが、荒れた自然と整理された自然では印象が違う。全てをする必要はなく、例えば幹線道路周辺や駅前周辺の整理をし、迎え入れられるようにする。</li> <li>・ 協議会を村民参画ですすめていく必要がある。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白馬は観光立村と農業立村の二本柱でされておられる。</li> <li>・ 農家ではないので詳しくは分からないが今回の TPP で痛手を受けたのではないか。</li> <li>・ 宿をしている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天気が良い時は駅前まで出て写真を撮る。山の景色が素晴らしいが電信柱が多く景観を台無しにしている。竹下総理の時に各自治体に1億円を配当することがあったが、その時にアンケートがあったが、結果は芸術家の設計図にお金を払った。その時自分は、駅前だけでも良いから電柱を地下に埋めたらと書いた。</li> <li>・ 白馬はいま、景観に頼っている状態。その先の集客に結びつけることを考える方が大事なのではないか。</li> <li>・ 五竜の植物園や八方の白馬館などよくやっているように見える。北に目を向けると岩岳はMTBの世界選手権の招致を2年している。柵池の植物園もお客さんに向けて力を入れている。ガイドをやっていることもあり猿倉が一番気になる。猿倉荘を何とかしてほしい。白馬岳は象徴だと思っている。その登山口が現状では寂しく思う。観光客がここ数年、白馬尻まで来る。八方寺まではきっちり整理されている。お金を落として行ってくれる観光客を大事にしていかなければならない。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者名簿があると発言順番が分かるのでほしかった。下の名前まで確認できるようにしてほしい。</li> <li>・ 退職して、千葉から来た。今年で5年目。</li> <li>・ 観光が素敵なところなので、身体が動く内は白馬にいて、悪くなれば都会に帰りたいと思っている。</li> <li>・ 五竜、八方、岩岳全部スキー場だがそれぞれの連携が見られない。自分たちのように他所からやって来た者にとっては一つの白馬村でしかないのに。特徴としてあるのに、リスト代が違うのが気になる。</li> <li>・ 村役場の課同士の連携が悪い。それを役場に言った2年後ぐらいに総合窓口ができ改善された。</li> <li>・ どの施設を借りるのにもお金がかかる。</li> <li>・ 住むからにはどこへ行っても安全で、子育てがしやすく、高齢になっても住みやすい白馬村にしたい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昼はホテルをしており、夜は主人が居酒屋をしているのでその商売をしている。</li> <li>・ 観光立村だが、写真を撮るのに電線が入る。入らないように撮ろうと思えば松川などの川しかない。東山の方に行くしかない。ハイランドの方は景観が良く撮影しに来る人が多いが、交通量が多く危険でもある。</li> <li>・ JR白馬駅に要望を出したことがある。いま使われていない2階を開放して使えるようにしたいと提出した。雨の日の過ごし方やカフェとしての利用もあるかもしれない。</li> <li>・ JRのベルは、普通のベルではなく、例えばアルプスの少女ハイジを流すなり、観光地としてお客さんにできることはないかと提案したこともあった。</li> <li>・ 白馬村がしている有線放送だが、お客さんには近くに学校があるのかと言われる。観</li> </ul>

	<p>光地らしいベルにしてはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防の無線放送が9時ぐらいにするが、ホテルのチェックアウトの時間と同じなので、何かあったのかと言われる。10時にすることはできないか。</li> <li>・ 二次交通の手段がない。観光地だが疑問に思うことがある。</li> <li>・ インバウンドの影響か、治安が悪くなってきている。外国人の方が亡くなられたこともある。ビールの空き缶が転がっている。インバウンドに対してどう対応するかを考えないといけない。</li> <li>・ 耳鼻科がない。子どもは、耳鼻科の方が治りが早いときがある。</li> <li>・ 野沢温泉がデザイナーを使ってPRしているように、観光地としての方法を考えなければいけない。</li> <li>・ 夏と冬はお店を営業しているが、春と秋は営業していないお店が多い。ホテルとして紹介するのに苦労している。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅前で不動産業を営んでいる。</li> <li>・ 20-30代の参加者が少ないのが寂しい。</li> <li>・ 移住希望者はたくさんいるが、それが成し得ないのは仕事がないことに尽きる。仕事を増やすには、企業誘致をしていく必要がある。一方で明日から何をしたら良いかと言われると明確ではないから動きにくい。</li> <li>・ 百馬力という会を何人かで立ち上げてやっている。この3-4ヶ月で2回開催している。参加者は20-40代ぐらい。1回に70名ほど来るので述べ140人ぐらい来ていることになる。ブレインストーミング形式で明日から何をするかを考えている。白馬の若者は能力があるがくすぶっており、白馬愛を持っている人が多い。いま若い世代が中心で頑張っていける土壌をつくる必要がある。</li> <li>・ 4-5年前電線を埋めるよう動いてきたがハードルが高い。ここ2-3年で分譲してきたものについては電線の地中化をしてきた。白馬村にも景観を売りにしているのであれば、中部電力やNTTに対して何らかの働きかけができないかと相談しに行ったが、「開発しなければいいのではないか」と言われた。お客さんは電線を埋設して売ること非常に喜んで貰える。</li> <li>・ 役所が集められる人は、どこかの会長の人など決まっているのではないか。これから先を考える若い世代へのアプローチが必要ではないのか。</li> <li>・ 村のことに積極的に関わろうと思ったのは、いまいる小学校3年と年長の子どもが10-20年後白馬に戻ってくる選択肢が与えられるのかということに興味があり、責任があると感じている。</li> <li>・ 白馬村はポテンシャルが高いと思っているので、行政のやり方しだいでは若者が増え、支えて貰える仕組みができると思う。</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名古屋に住んでいたが1995年に白馬に引っ越ししてきた。</li> <li>・ 水と空気と豊かな緑と静寂さが30年前からあった。素晴らしい景観に住まわせてもらっていることに感謝している。</li> <li>・ 第4次計画の時の公募で住民として一人が入っていた。</li> <li>・ いまは人の変化が大きい。</li> <li>・ 1999-2004年にいいとこずら白馬という観光推進プログラムがあった。民族史や文化を体験的に学んだ。いまは伝える人、繋げるがいなくなってしまった。昔は採れた作物を家の前に黙って置いてくれていた。それに惚れて白馬に来た。</li> <li>・ 家内が外国人なので外国人との交流も考えなければいけない。</li> <li>・ 白馬高校、中学生たちに白馬の素晴らしさを、自分たちの世代を伝えなければいけない。そして人を育てる必要がある。</li> <li>・ 高校生や中学生を対象にしたミニキャンプをもっとしていくべき。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八方で民宿をしている。</li> <li>・ 生まれも育ちも八方。</li> <li>・ 八方集落は家ごと居なくなって来ている。子どものころから凄い勢いで様変わりしてきている。騒音などインバウンドの関係から心配になってきている。</li> <li>・ 外国人が住み始め、ハーフの子どもが生まれ、彼らと仲良くやっていく方法を模索していく必要がある。</li> <li>・ 北小学校の運動会で親は美しい景色中のできることを良く言うが、子どもにとっては感じることはない。都会に出て戻ってきて、はじめて景観の良さを感じる。</li> <li>・ 白馬高校のOBとしていまは存続しているだけでも意義があると思う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一番大切なのは景観だと思う。景観形成に対する思いは強くある。これからの主たる産業も観光産業だと思う。</li> <li>・ 第4次で「村ごと自然公園」と掲げたが、役場として、また村民としてどれだけ意識できているのかと思うことがある。これまでもルールをつくってきたが徹底されていない。例えば1999年の色彩計画。いま真っ黒な家が立ち始めているがこれは建ててはいけない。外国の方で色彩計画を知らない方がいたり、新築で黒い家を建てたりしている。英語版の色彩計画が出たようなのでレクチャーをしていく必要がある。景観でもてなす村が白馬。</li> <li>・ 平場の農地の保全がなされていない。田んぼが広がる風景が観光になる。八方のゴンドラから見た景色を守る必要がある。役場が独自の補助金を作るなりして補助する必要がある。自分も農業をしているがコンバインが壊れたら農業を辞める。</li> <li>・ 行政区に30%が入っていないのが問題。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆さんの話を聞いていて、できることをやっていかなければいけないと思った。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公募委員。</li> <li>・ エコーランドで飲食店をしている。</li> <li>・ 人が集まらないと思って来たが、みなさん真剣に考えておられると思った。</li> <li>・ 村長や副村長も参加してもらって雰囲気を感じ取ってもらう必要があるのではないか。次回は参加してほしい。</li> <li>・ 外国人が増えてきて、治安の悪さを感じるようになってきた。ごみを捨てるなど、日本の習慣と異なることをする。看板やパンフレットで日本のルールを伝える必要がある。</li> <li>・ 観光立村で考えると、人口が減るということは賑わいも減っていくことになる。結果、観光地としてのクオリティの低下が考えられる。7年前に神戸から引っ越してきたが、地元に戻ると白馬は良い、移住したいと言われるが、移住するには仕事の懸念がある。具体的な目に見える支援策が必要。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 15年間見てきて、スキーやグリーンシーズンの人口が増えることはなかった。電柱も言っているが改善することはなかった。</li> <li>・ 地方創生の時代に入ったが改善されない総合計画であれば先は無いと思う。</li> <li>・ ミシェル・クワノンさんが言われた通り、村民主体、村全員で昔から住んでいる人も、新しく入ってきた人も交えて話す必要がある。1年でも何年かかってもいいと思う。</li> </ul>

これからの参加の現場 (studio-L パート)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国籍の方を入れたい。彼らから見た、治安問題や白馬の課題があるのではないかと思う。</li> <li>・ 父親は和歌山で、母親は東京出身。自分は白馬で生まれた余所者二世。どんぐり村で一番最初に生まれ、どんぐり一号と言われた。</li> <li>・ 平日昼間に来れる人は、家業か自営業をしている人、自由な時間がある人だと思うので、もっといろんな人とコミュニケーションをとれると良いと思う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 村を4つのキーに分けて話し合わないといけないと思う。             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 美食・農産物 (白馬を観光地として見た時に美味しいものがあるという見方)</li> <li>② 建築・インテリア (建築、インテリア、景観を考える)</li> <li>③ 美術品・工芸品 (登山に来た人が良いなと思えるように)</li> <li>④ 温泉 (白馬の温泉の質は良い)</li> </ul> </li> <li>・ 東北の高台移転で成功したのは住民参画だったこと。行政主導で成功したところはないのではないか。</li> <li>・ 1年では足りないし、2-3年かかっても良いと思う。</li> <li>・ 基本構想でその後の議論が縛られないようにする必要がある。</li> <li>・ ネットで意見を聞いても良いと思う。</li> <li>・ 理念を掲げた時に、みんなが、生活が潤うというイメージを持ってないといけないと思う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性が来れるようにする。子どもを生むのは女性で、女性の感性がある。男性から5人聞いたのであれば、女性から5人聞く必要がある。</li> <li>・ 若い人への呼びかけ方として例えばネットを使ってはどうか。</li> <li>・ 行政からではなく、クチコミで広げていく必要がある。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育てや医療、住まい、交通、ボランティアなどの暮らしを考える必要がある。</li> <li>・ 一方で、言っても仕方がないという考え方を持っている人もいる。今回やるのであれば先のことを文面にして、どこのだれが責任をもってやるのか、検証するのまで示す必要がある。</li> <li>・ 勤めているハイランドホテルはまさしく理念の会社。社長が長野にいたので1年に1回ぐらいしかこない。理念を謳っており社員ひとりひとりが考えなければいけない。7年前に比べると売上が3倍に増えている。理念を考えることでどう動かなければいけないかを考えるようになる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議会のいまの集まりがどう繋がるのかが分からない。その上、スケジュールがタイト。</li> <li>・ 総合計画は年末にはまとめるということを疑問に思っている。</li> <li>・ 28年度末につくってもいいのではないか。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白馬に越してきて1年の新参者ですが、基本構想自体は漠然としたものを掲げてもいい</li> </ul>

	<p>のではない。それにそって話し合いを考えていけば良いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スキーシーズンだけ白馬に住んでいて、村人ではない人は多くいる。そういう人たちをいかに村民にしていけるか、参加してもらえるかを考えても良いと思う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前村長の意見を踏襲できているのか。</li> <li>・ 女性は教育など直近の悩みを多く抱えている。幼稚園や保育園に行って意見を聞く手法をとってもいいのではないか。</li> <li>・ PDCA の仕組みを整える。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の中で、人口だけを数値目標にするのは辞めてほしい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数値化して、スケジュールを入れることで計画ができる。</li> <li>・ いろんな話しをボトムアップで聞くのは良いが、聞きすぎて何もできないのでは意味がない。できないと参加する意識が薄れてしまう。</li> <li>・ まずは、理念を明確にする必要がある。計画や高層よりも前に。理念を表現するのに一番良いのは、漫画化すること。余分なものを削ぎ落とさないとビジュアル化できないので、本当に必要なものだけが残る。</li> </ul>

板書記録

「これからの参加の現場」

### 人

- ・ 外国籍 → 彼らから見た課題とは?
- ・ 村を4つのテーマに分けて
  - ① 美食 ② 建築・インテリア
  - ③ 工芸品 美術品 ④ 温泉
- ・ 地域 ごとに分ける
- ・ 立場 (昔から住んでいる・Uターン・Iターン)
- ・ 女性 の参加
- ・ 暮らし (医療・交通など)
- ・ 村民以外 の参加

### 場

平日の日中は自営業しか来にくい

ネットに参加を知らせる } IT

ネットで見聞を築く } IT

クチコミで伝えていく } 手法

子育て世代の場

### どんなことを話し合う

- ・ 考えたアクションは、誰が、いつまでにやるかまでを合わせてやっていくようにする
- ・ もっと長い時間をかけて計画づくりをした方が良いのではないかな
- ・ 講想は計画をしばらくしないように
- ・ 白馬の村民になるには?
- ・ PDCA の仕組み
- ・ 人口だけを目標としない
- ・ 理念を明確に (マンガ化・絵本化する)